



瀧本 孝一 議員

一問一答方式

その他の質問

- 農地集積について

なぜ今、小さな拠点づくりが必要か 市長・・・地域の安心の仕組みづくりが急務

問……………

なぜ今、小さな拠点
による地域づくりを進
めなければならぬの
か、その背景は。

答(市長)……………

人口減少が急激に進
む地方の中山間地域等
では、商店等生活機能
が存在する基幹集落を
中心とした複数の集落
による「小さな拠点」
(集落生活圏)を形成
して、地域で安心して

暮らし続けられる持続
可能な仕組みづくりが
急務である。

問……………

指定管理者制度への
移行の概要や、地域お
こし協力隊の活用は。

答(市長)……………

指定管理者制度への
移行は、地域との合意
形成や人材育成、実務
研修等を実施しながら
地域の熟度に応じて段
階的に行っていくべき

い。移行の期間は令和
2年～3年内を目途と
したい。

問……………

地域おこし協力隊員
の活用は、専門的知識
や地元視点とは違う感
覚を持っており、その
ノウハウを活かせる人
材として大いに期待で
きる。

答(市長)……………

問……………

財政状況は健全か。

答(市長)……………

国から示されている
各指標の範囲内にある
ことから、健全財政で
あると言える。

問……………

中心市街地活性化策
として、これまで10年
間で約100億円を投
じ「博物館」や「とお
の昔話村」、「あすもあ

遠野」などを整備して
きた。しかし、観光客
は減少傾向が続く商店
街も閑散としている。
原因と今後の対応策
は。

答(市長)……………

街の賑わいは事業の
複合的な効果により生
み出される。これまで
形成してきた資産を、
民間活力を活かしなが
ら、周辺の経済効果等
につなげられるよう取
り組む。

問……………

これまでのプロジェ
クト―風の丘の機能充
実整備事業10億円の計
画見直し、中学校再編
後における学校施設の
活用策棚上げ、馬事振
興ビジョンに空白期間
発生などは、その必
要性と予算措置、及び
将来展望を検証しない
ままに着手し中断。こ
れは予算の無駄遣いに
なったと認識するが、
原因分析と改善策は。

答(市長)……………

緊張感を持ってしつ
かり検証し、見直すこ
とにより次のプロジェ
クトに持ち込む。

答(市長)……………

緊張感を持ってしつ
かり検証し、見直すこ
とにより次のプロジェ
クトに持ち込む。



佐々木 大三元 議員

一問一答方式

遠野東工業団地の整備状況は

市長・・・団地造成、企業誘致 共に順調



順調に進んでいる東工業団地の造成工事

問……………

隣地拡張の造成工事
は計画通り進んでいる
か。

答(市長)……………

地権者の了承を得、
県の全面的な協力も頂
きながら順調に進んで
いる。

問……………

誘致企業との立地交
渉は順調か。

答(市長)……………

信頼関係の下で、か
なりいい感触を得てい

問……………

昨今の高齢者が関与
する悲惨な交通事故の
所感と、最近の多様な
安全装置の搭載された
自動車についての評価
や認識は。

答(市長)……………

全国で高齢者が関係
する悲惨な交通事故の
発生は憂慮しており、
本市も県内同規模の八
幡平市や二戸市との3
市の中では、交通事故
件数は、1番少ないも
のの、割合としては、
高齢者事故が1番多い

問……………

状況である。
自動車メーカーも、
自動ブレーキやペダル
踏み間違い時加速抑制
装置など、安全運転装
置の搭載車種の拡大を
急ピッチで進めている
と認識をしている。

答(市長)……………

交通事故抑止や弱者
対策として、八幡平市
などが実施している、
高齢者への安全装置付
き自動車の購入助成制
度を創設する考えは。

問……………

市内企業からの求人
に対する充足率が低い
原因は。

答(市長)……………

市内2校の高卒生が
県内外に流出してい
る。原因は企業の知名
度や労働条件(給与、
残業の有無)、都会へ
のあこがれ等が考えら
れる。

問……………

上郷町と宮守町への
子育て支援住宅の整備
計画は。

答(市長)……………

時代の流れや市営住
宅の需要を捉え、将来
人口、世帯数の推計な
どを考慮しながら前向
きに取り組む。